

# 令和4年度英語教育改善プラン推進事業【徳島県】

☑ 児童生徒の発信力強化のための効果的な指導・評価

☑ 学校種間連携

☑ 英語担当教師の指導力・英語力の向上(小学校担当教師の指導力向上)

## 当該地域における英語教育の課題

### ① 生徒の英語力

中学生（CEFR A1レベル相当以上達成）及び高校生（CEFR A2レベル相当以上達成）共に、50%に到達していない。

・中47.8%(47.0%) 高 49.4%(46.1%)

### ② 学習成果の適切な評価

中高共に、生徒の英語力の適正な把握に課題がある。パフォーマンステスト実施の割合及び目標・指導・評価の一体化についての理解を深めるとともに、実践するための指導力を一層向上させる必要がある。

・パフォーマンステスト実施状況（スピーキングテストとライティングテスト両方）中93.6%(90.5%) 高35.7%(38.4%)

### ③ 教員の英語使用状況及び生徒の英語による言語活動の状況について

中高共に、教員の英語使用状況、生徒の英語による言語活動の状況に課題がある。新学習指導要領のねらいを踏まえるとともに、各校の生徒の実態に合わせた、言語活動を通じた授業改善を促進するための指導力を向上させる必要がある。

・英語担当教員の英語使用状況（発話の半分以上） 中84.3%(73.4%) 高48.3%(46.0%)

・生徒の言語活動（授業の半分以上） 中81.2%(71.3%) 高50.6%(50.3%)

### ④ 校種間連携について

小中連携の充実及び小高・中高連携の推進が必要である。校種間連携型CAN-DOリストの効果的な活用に課題がある。

・英語教育に関する校種間連携の状況 小中連携 100%(72.5%) 小高連携7.1%(9.0%) 中高連携 25.0%(20.7%)

### ⑤ ICTの活用

生徒の発信力育成を実現する授業改善において、ICTを効果的なツールとして活用するICT指導力の向上が必要である。

・生徒が発表及びやり取りにICT機器を活用 中 85.0%(86.2%) 高 96.4%(69.7%)

【出典】R3英語教育実施状況調査より：本県（全国平均）

## <実施内容>

### ◇ 「徳島県英語教育推進計画COMPASS」の周知徹底の継続【小中高】（課題①～⑤）

本県の英語担当教員全員に、本県英語教育の方向性や重点的な取組を共有した。研修や主任会等での説明とともに、学校訪問で教科会等を実施し、目標達成に向けてそれぞれの学校が抱えている課題を聞き取り、解決に向けて支援策を講じた。

### ◇ 英語指導力向上事業【小中高】（課題①②⑤）

有識者の指導のもと、推進研究校と徳島イングリッシュメンター（小中高各3名）が授業づくりについて実践研究を行い、公開授業研究会をオンデマンド形式で発信し、県内教員と共有した。他校や他校種の実践事例を、各教員が校務の状況に合わせた時間に、繰り返し視聴することができた。

### ◇ パフォーマンス評価ワークショップ【小中高】（課題①②⑤）

「CAN-DOリスト形式」の学習到達目標に基づくパフォーマンス評価について、有識者による講義及び演習（グループ協議、パフォーマンス評価設定、ルーブリック作成）を行った。

### ◇ ディベート活動を通じた授業改善動画の作成【高】（課題①③⑤）

授業への英語ディベート活動導入の参考として、有識者による解説及び県内高校による活動実践を映像にまとめ、研修で使用するとともにDVD形式で各校へ配付した。各校の実態を踏まえて活用しやすいように、標準的な活動と発展的な活動に分けて事例を提供した。

### ◇ 新学習指導要領のねらいを実現する授業改善研究会【高】（課題①②③⑤）

授業における言語活動の充実、目標・指導・評価の一体化、観点別評価を生かした授業づくり等を促進するため、先進的な取組を行う教員や有識者による講演・演習を4回実施した。県内の他の英語教員と情報交換できる研究会とすることで、各校の課題への継続的・段階的な取組を推進した。

### ◇ 小中高連携のための「指導と評価の一体化」サイトの作成【小中高】（課題①②④⑤）

小中高教員及び有識者からなる作成委員会において、有識者の指導のもと、「新しい評価」に基づく評価問題例を作成し、新規ウェブサイト「徳島県英語教育推進計画COMPASS「指導と評価の一体化」サイト」上で公開した。

## <成果指標に基づく成果及び検証>

### ■ 課題①に対する成果検証

生徒の英語力は中学校52.1%(4.3pt. UP)、高等学校50.0%(0.7pt. UP)となり、中高共に英語力は向上し、国の目標を達成することができた。学習指導要領及び「徳島県英語教育推進計画COMPASS」の重点施策に基づく、授業改善及び学習改善が進みつつあると考えられる。

## 課題②に対する成果検証

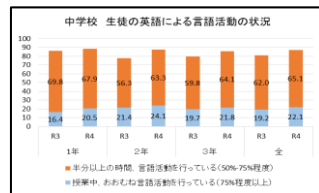
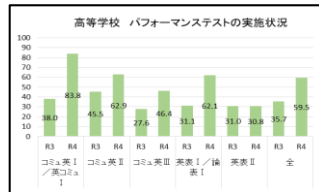
パフォーマンステスト（スピーキングテスト及びライティングテスト両方）の実施状況は、中学校87.2%（4.9pt. DOWN）、高等学校59.5%（23.8pt. UP）という結果であり、一部の改善は認められたものの、目標・指導・評価の一体化を実現する学習指導のPDCAサイクルの促進が、引き続き求められる。取組としては、有識者の指導のもと、継続的に実践と考察を行う実践研究、教科書単元を用いた評価設定やルーブリック作成等、実践的演習が効果的であった。

○「英語指導力向上事業」受講者アンケートより

- ・指導と評価の一体化を図ることが、生徒の英語力や自分自身の指導力の向上につながることを経験できた。
- ・単元ごとに明確な目標を持って指導するようになり、単元終了後に自分の指導を振り返って、次の単元で改善すべき課題を見つけ出すようになった。

○「パフォーマンス評価ワークショップ」受講者アンケートより

- ・指導する前に、育てたい児童生徒の姿を明確にして指導できれば、パフォーマンス評価のルーブリックも決まってくるのだと改めて学んだ。
- ・意味のある場面設定と、いかに楽しく学び多い授業にするかについて自分自身が学ばなければならない。

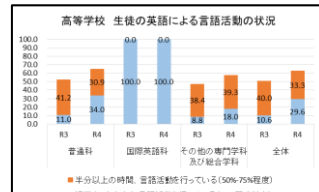


## 課題③に対する成果検証

生徒の言語活動割合（授業の半分以上）の達成割合は、中学校87.2%（6.0pt. UP）、高校62.9%（12.0pt. UP）であり、改善が見られた。一方で、各地域・学校によって状況に差があり、各生徒の実態を踏まえつつ、言語活動を通じて指導を行う実践的指導力を一層向上させる必要がある。取組としては、有識者や先進的な取組をしている教員による、コミュニケーションを行う目的・場面・状況の設定等についての実践的研修や実践映像による共有が効果的であった。

○「新学習指導要領のねらいを実現する授業改善研究会」参加者の感想より

- ・言語活動を行う際の目的、場面、状況設定についての具体例や、指導と評価の一体化について、新しい考えを得ることができて良かった。
- ・校種間でのマイナスギャップを減らすという話が印象に残っている。小学校からの英語学習で積み重ねてきたものを高校で無駄にしないように、言語活動が充実した授業を行いたい。

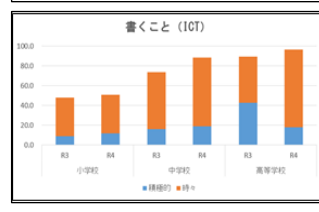
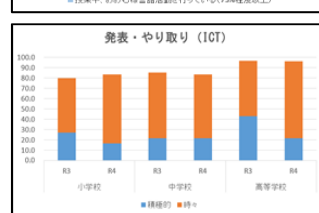


## 課題④に対する成果検証

英語教育に関する校種間連携の状況は、小中連携100%（R3:100%）、中高連携35.7%（12pt. UP）であり、連携のシステムづくりが求められる。一貫した外国語教育の重要性への認識や、中高が情報交換する方策についての研究の一層の促進が求められる。「小中連携版CAN-DOリスト」の活用や、他校種教員と情報交換ができる研修が効果的であった。

## 課題⑤に対する成果検証

ほぼ全ての小中高等学校において、教員によるデジタル教材等の活用は行われているものの、生徒が端末を用いてやり取りや発表をする活動については中学校の16.5%が「実施していない」、高等学校の28.6%が「25%未満」の実施とのことであった。教員が生徒に端末を活用させるICT指導力の向上が必要である。



# <今後の方向性>

※ 割合は「令和5年度英語教育実施状況調査」における目標値

## 課題①に対して

学習指導要領のねらい及び「徳島県英語教育推進計画COMPASS」の重点施策の周知徹底を図り、全ての生徒の英語力向上を図る。

- ・数値目標：生徒の英語力 中学校（CEFR A1レベル相当以上）58% 高等学校（CEFR A2レベル相当以上）59%

## 課題②に対して

新設の「徳島県英語教育推進計画COMPASS「指導と評価の一体化」サイト」の充実を図るとともに、研修等において活用方法について共有。CEFR B1を目指した指導力向上と見なしのスキルアップ向上を図る実践研究を行う。

- ・数値目標：スピーキングテストとライティングテスト両方実施 中学校 90% 高等学校 65%

## 課題③に対して

学校悉皆の研修等において、目標・指導・評価の一体化を徹底するために、生徒の実態に応じた、充実した言語活動を伴う授業実践を行うための指導力向上を図る。

- ・数値目標：生徒の英語による言語活動の状況（授業の半分以上） 中学校 93% 高等学校 75%

## 課題④に対して

小中高連携版CAN-DOリストを軸に、新設した「徳島県英語教育推進計画COMPASS「指導と評価の一体化」サイト」の一層の充実と活用方法の普及を図る。

- ・数値目標：英語教育に関する連携の実施状況：小中連携 100% 中高連携 45%

## 課題⑤に対して

ICTを活用したパフォーマンステストを開発し、「一体化サイト」等で共有し、活用を促進する。

- ・数値目標：生徒がPC等を用いてやり取り・発表 中【実施なし】0% 高【～25%】～20%

## 成果普及

- 「徳島県英語教育推進計画COMPASS」
- パフォーマンス評価ワークショップ



- 「指導と評価の一体化サイト」

URL: <https://www.pref.tokushima.lg.jp/compass-private>

ログインID: COMPASS

パスワード: English

